

カラフルな時間を過ごす場所

長崎駅前広場/長崎駅

▲全国の新幹線ネットワークにつながることで、ヒト・モノ・情報の交流が活発に!長崎がより一層元気になります。市民や来訪者もくつろげる場所やイベントスペースなどがあり、平日も休日も多くの人が行き交います。



長崎の玄関口って感じ!バスやタクシーなどの乗り継ぎもスムーズなんだね

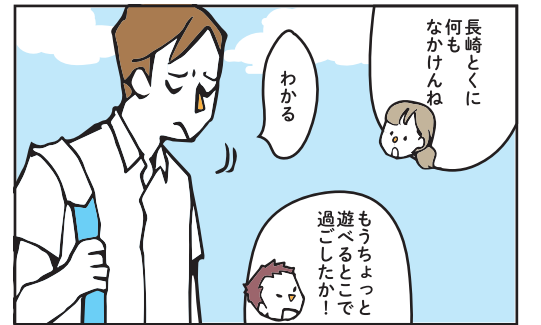
広場もゆったりしていて、ツヨシの大好きな新幹線もよく見えるぞ!



5年後の長崎市にタイムスリップ!?

“ワクワク”“便利”“快適”をカタチに 長崎のまち 進化中!!

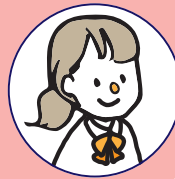
長崎市は今、皆さんに“楽しみたい!”“学びたい!”“ワクワクしたい!”“働きたい!”と思ってもらえるように、みんなで力を合わせて取り組んでいます。5回シリーズでまちの進化を紹介する企画の第1弾は、市街地で進むまちづくりをお知らせします。



胸高まる驚きや発見に出会う 交流拠点施設



▲国際会議や学会を行う「コンベンションホール」やイベント・展示などを行う「イベント・展示ホール」、高級ホテルやショップ、サテライトスタジオなどが複合した施設です。最先端の情報や技術、文化にふれることができる場所であることから、鎖国時代に唯一西洋との貿易の窓口だった出島になぞらえ「現代のDEJIMA」が誕生します。



ロボットの展示会や物産展、国際会議もやってるんだ!ホテルも一緒になっているから、泊まる時にも便利だね!

世界中の人が集まるいろんなイベントにも参加できるんだ。アヤにとっても貴重な経験ができること間違いなしだぞ!



交流拠点施設

暮らしに寄り添う 長崎市役所

▶市民のかたがよく訪れる窓口をまとめて1~4階に配置。2階には子育て関係の手続きをまとめ、子ども連れのかたでもスムーズに手続きをすることができます。市民の皆さんが利用できる多目的スペースや会議室もあり、長崎のまちづくりのことなどを話し合う場所にもなります。



エントランスホールではパブリックビューイングもできるからみんなでスポーツ観戦ができそう!

屋上は展望スペースになっていて、これまでにない角度から長崎のまちなみを見ることができるぞ!



やみつきになる感動を スタジアムシティ



稲佐山

◀V・ファーレン長崎の本拠地で最大23,000席のスタジアムを核とした「住む・働く・遊ぶ・学ぶ・憩う」が融合したユニークなまちです。仕事や学校帰りに気軽に観戦することができます。スタジアムの他にもマンションや公園などもあり、毎日楽しめる空間です。



大好きなサッカーの試合が駅のすぐそばで見られるんだね!

スタジアムだけじゃないんだ。近くにはホテルや地元密着のマーケットがあってとっても便利なんだ。



心はずむ8分間の空中散歩

稲佐山スロープカー

◀稲佐山中腹駐車場から山頂展望台までを往復。一度に80人が乗車でき、気軽に山頂へアクセスできます。ガラス張りのデザインで稲佐山の豊かな樹木が作る自然を車内から眺めることができ、山頂への移動時間も楽しめます!



車内からの風景もキレイ! 随分写真が撮りたくなっちゃう!

見た目もカッコイイんだ。フェラーリ デザインなどを担当した世界的工業デザイナー奥山清行氏が代表を務める(株)KEN OKUYAMA DESIGNがデザインを手掛けたんだ。

